



眞福寺便り

平成 30 年
冬号
(年 4 回発行)
No. 5

住職あいさつ



明けましておめでとうございます。

眞福寺の今年の目標は「多くの人が集まるお寺をつくる」ことです。具体的には、檀信徒の皆様にお施餓鬼・法事以外の目的でも眞福寺を訪れるようになってもらいたい、と思っております。

一昨年ごろから年間行事を充実させ、「お彼岸供養」など本来のお寺らしい行事も定着してきました。そして体験できる行事として、坐禅会・写経会の方も好評をいただいております、少しずつですが効果が現れてきているように感じます。

また、別紙チラシのように「お寺でお葬式」の受付も始めます。これからは葬儀会館での派手なお葬式より、お寺を利用するお葬式の方が当たり前の時代が変わっていくと思います。小さなお葬式を希望される方もまずはご相談下さい。ご供養する場所という本来の形としても多くの檀家さんに集まって欲しいと思います。

そして、新しいPRとしてホームページを開設しました。今後はインターネット環境も駆使しながら広報活動を行います。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

合掌

本紙は多くの人に眞福寺のことを知って頂くための広報です。特に20〜50代の若い方にも読んでもらえるよう、「ご紹介をお願いします」。

行事案内

どの行事も参加費無料です。

● 2月18日(日) 涅槃会供養・写経会

① 涅槃会供養 午前9時〜9時30分

お釈迦さまのご命日をご供養する法要です。宝物「釈迦涅槃図」を年に一度の公開。

② 写経会 午前9時30分〜12時

写経用紙の販売100円。筆ペン無料で貸出。



● 3月21日(祝) お彼岸供養・法話会

① 【本堂】総供養・法話 午前9時〜

② 【下末霊苑】総供養 午前10時30分〜

・ 申込不要で、どなたでも参加できます。
・ 新亡(2年以内にご逝去)の檀家さんはご参加をお願いします。



◆ 坐禅会 3月11日(日)

夕方4時〜6時

◆ 写経会 2月18日(日)

午前9時30分〜12時

● お寺で婚活「吉縁会」がテレビで放送

10月14日、11月12日にお寺で婚活「吉縁会」が開催されました。また、この会の様子が12月4日の東海テレビの夕方ニュース「One」で放送されました。いま「吉縁会」は大変な人気を集め、会員は増加傾向です。こうしたイベントをきっかけに若い年代の人がお寺に集まればと思います。



↑吉縁会のようす

● 11月12日 観音さま参り・写経会

御開帳された観音三尊像にお参りをしました。修繕を終えたばかりの不動明王・毘沙門天は美しい姿で参拝者を魅了していました。



↑観音さまに見守られながらのお勤め

● 坐禅会を開催

10月29日、12月10日に坐禅会を開催しました。どちらの日も少人数の集まりではありましたが、どちらも初参加の方が来てくださいました。今後も坐禅会を定期的に開催していきます。

● 11月11〜18日 観音三尊像 御開帳・宝物展

眞福寺のご本尊さまである観音三尊像（聖観世音菩薩・不動明王・毘沙門天）を、年に一度の御開帳をしました。

合わせて、眞福寺が所蔵する掛け軸などを展示する「宝物展」を行いました。普段とは違う眞福寺の一面に、参拝者の方々は興味深そうに見入ってくださるのが印象的でした。



↑宝物展を鑑賞しています

● 11月18日 観音さま参り（観音像 建立記念）

境内に観音像が建立されて今年で38周年となりました。屋外の仏像に向かって読経する予定でしたが、あいにくの冷たい雨となったので、本堂にて厳修しました。



→本堂でお参りをしました

● おてらおやつクラブ報告

おてらおやつクラブの活動として、11月27日にお供物の一部を寄附いたしました。本堂には活動を支援するための募金箱も設置していますが、ご協力を頂ける人が増えており、嬉しく思います。今後ご理解とご協力をお願い申し上げます。



おてらおやつクラブ
「おそなえ」
「おさがり」
「おすそわけ」

● 12月31日 除夜の鐘つき

参拝に来られた方に除夜の鐘をついてもらいました。今年はおでんを振る舞い、温まりながら年越しをしました。



↑参拝者が鐘をつきます

● 1月1日 初参り

新年最初の朝のお勤めです。「祝聖」と言って日本国の安泰と今上天皇陛下の無事をご祈願する儀式です。また、参拝者にはお抹茶と和菓子を振る舞いました。



自家製おでん↓

● 1月7日 大般若祈祷会

一年間の厄祓いをご祈祷する大般若祈祷会を厳修しました。この法要でご祈祷された大般若札を全ての檀家さんに配布いたしました。



↑檀家さんがお供えされた鏡餅・餅米

今回は還暦の厄祓いが2名あり、終了後の祝宴もご一緒しました。



↑大般若会のようなす

【来年から変更】大般若札の配布中止

毎年配布している大般若札ですが、来年より配布を中止します。来年以降は大般若祈祷会の当日に参拝された方に進呈いたします。また、年末年始にお供物を納めた方へののみ、郵送で配布します。



仏教まめ知識

法事の時、お仏壇には何を用意しますか？



生花・お膳・お菓子・果物は必須、その他に好きなものを。

生花：生花を飾ることで、尊い方への敬意を表すと共に、私たちの心が清らかになり、気持ち安らぎます。種類は何でも良いですが、バラ等の棘のある花は避けるべきです。49日まで(忌中)は、派手な色を避けて白・黄の菊を使います。

お膳：仏さまのお食事です。私たちが食べ物に恵まれていることを確認し、仏さまへの感謝を表します。肉・魚・卵は使用しない「精進料理」が原則になります。間違えやすい点ですが、お箸は仏さまの側に置きましょう。



お箸は仏さま側

お菓子：種類は何でも良いです。好きなお菓子、果物
旬の果物をお供えしてあげて下さい。
高杯を使うのが正式ですが、乗り切らない場合はお盆を使っても良いです。



(左) お菓子 (右) 果物

その他、故人が好きだったもの・故人を偲ぶ品などで自由に飾ってあげてください。

本堂での法事の時、お菓子のお供物を各家からお持ち下さい。

「禅」を深める

●一休宗純（一休禅師）

アニメ「一休さん」は小僧さんが主役の創作話ですが、一休宗純という実在のお坊さんがモデルになっていきます。一休禅師は1394～1481（室町時代）を生き、漫画の愛らしい印象とは違って奇抜・風狂な言動で、規律に縛られない自由な方でした。禅僧としての実力もある方で、京都大徳寺の住職として応仁の乱で荒廃した大徳寺を再建しました。また、「茶の湯」を大成した村田珠光は一休和尚から禅を学び、後の「茶道」にも大きな影響を与えました。



●「門松は、冥途の旅の一里塚」

一休禅師は大悟（お悟りの境地）を示しながらも自由な言行で民衆からの人気を集め、近世文学には一休ブームが起こったとも言われています。



お正月にまつわる狂歌として、次のような一句を詠まれました。
『門松は 冥途の旅の 一里塚 馬駕籠もなく 泊まりやもなし』
（門松は、人生という死へ向かう旅の、一年毎に見る道標だ。
人生とは、馬や駕籠に頼れず宿屋もない、厳しい旅である。）
アニメ一休さんで、お正月に浮かれる人を前に「ご用心・ご用心」と觸體を見せて回るストーリーがあります。これも創作話です。

住職よりひとこと近況報告

11月下旬に第一子（女の子）が生まれ、すくすくと成長しています。

その他お知らせ

◆お寺でお葬式「真福寺葬」：住職より補足

●真福寺が主導する、檀家さんを第一に考えたお葬式。

お葬式の事は、葬儀社よりもお寺を頼ってもらいたい、そんな思いもあって「お寺でお葬式」を始めます。真福寺が主導して、葬儀社の都合よりも檀家さんのことを優先しますから、安心して任せて頂きたいです。

●葬儀社の互助会（積立金）は不要。解約手数料を全額負担します。

葬儀社の互助会（積立金）を利用していても決して葬祭費用は安くなりません。むしろ葬儀社の良いように誘導されて、不要なことまでお金を掛け過ぎる高額なお葬式になることもあります。

事前相談された方は、他社互助会の解約手数料を一平さんが全額負担していただきます（真福寺葬の費用から割引）。

●事前相談をどうぞ。他社の見積もりと比較を推奨します。

解約手数料のサービスだけでなく、何よりお葬式当日に慌てないためにも事前相談をどうぞ。実際の本堂にて、住職・一平スタッフの同席で丁寧にご説明いたします。決して契約を強要しませんので、他社の見積もりと比較を推奨します。

ご家族が本当に納得できるお葬式とは何か考えてみませんか。



発行者：下末 真福寺

〒485-0825

小牧市下末 1060 番地

TEL/FAX：(0568) 77-4744

E-mail：

shimozue.shimpukuji

@gmail.com



メールもOKです。

最新情報は
WEBサイトで！

真福寺 BLOG

下末 真福寺

Official Website

下末 真福寺

検索

檀家でなくても、ご希望の方には「真福寺便り」を定期的に郵送いたします。（無料。）